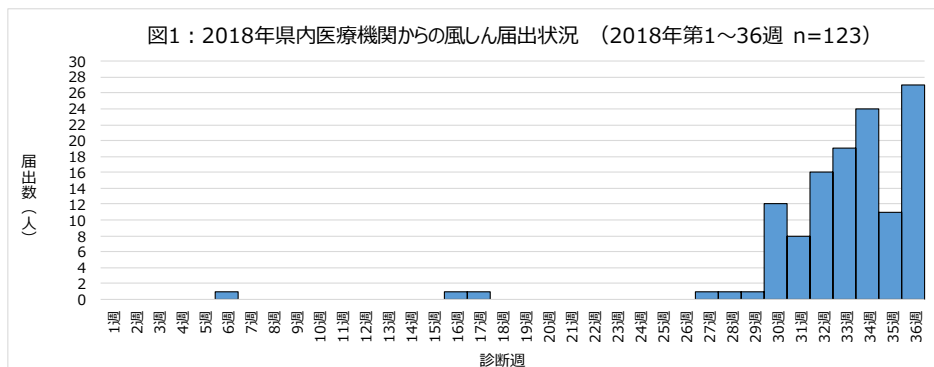


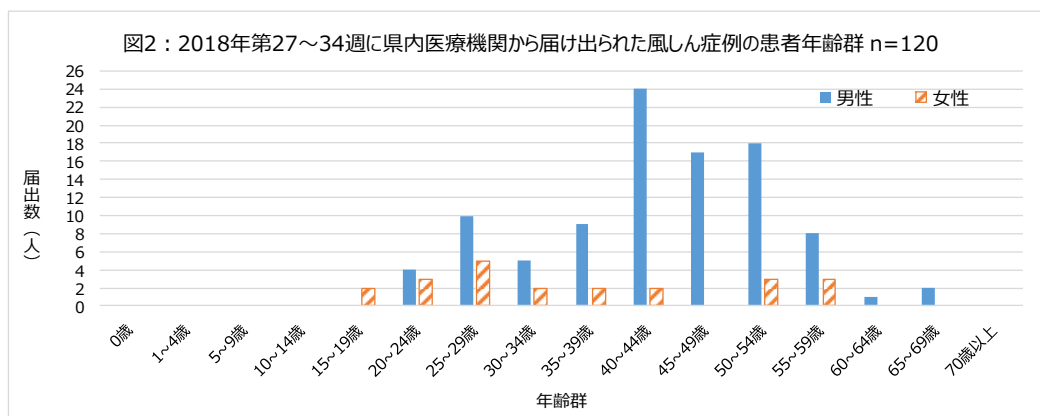
## 【今週の注目疾患】

### 【風しん】

2018年第36週に県内医療機関から27例の風しんの届出があった。第34週分の遅れ報告1例も加わり、2018年の累計は123例となった。うち120例は第27週以降に届け出られた症例であり、第30週に届出数急増後、週当たりの届出数は非常に多い状態が続いている(図1)。



第27週以降に届け出られた120例について、性別は男性98例、女性22例である。男性は40代(41例)の届出が最も多く、次いで50代(26例)、30代(14例)、20代(14例)と続く。女性は20代(8例)が多い(図2)。



ワクチン接種歴は1回(6例)、無し(28例)、不明(86例)であった(図3)。今後も県内で風しん患者の発生が予想され、先天性風しん症候群の発生防止のため、特に、妊娠を希望される女性や抗体を保有しない妊婦と同居されている方、妊婦と接触する機会の多い方(医療従事者等)で、予防接種を必要回数受けていない方は、かかりつけ医などに相談の上、抗体検査や予防接種を検討しましょう。

